



ROADSTER CUP
1.5/1.6/1.8/2.0
Round 2



ロードスターカップ第2戦はENEOS スーパー耐久シリーズ 2022 第2戦 NAPAC 富士SUPER TEC 24時間レースと同日開催された。土曜日の朝に行われた予選でトップタイムを出し、ポールポジションを決めたのは、1.8クラス#18 SYNTIUM東海車両NB8 小林哲男2'09.218。フロントローは1.5オープントップの#7 JOYアクレMotys☆ND5 茂木文明が2'09.307で並ぶ。1.6クラストップは総合12番手の#34 Winmax内藤板金AKC NA6 竹田幸一郎の2'13.005。1.5チャレンジクラスは、総合18番手の#1 IDS レイルガルフロードスター 菊地峻斗が2'15.454でクラストップからスタートとなった。決勝レースは、11時15分にスタートが切られ、直後のTGRコーナーでは大接戦となったが、オープニングラップでは上位4台はポジションを替えずに戻って来た。コンマ差のトップ争いは3周目に#7茂木が総合トップ

を奪う。その後もファステストラップを更新しながら徐々に後続との間隔をあけ、8週の決勝レースはそのままとってチェッカーを受けた。各クラス優勝ドライバーはレース後に1.6 #34 竹田「コーナーだと2番手の#27野木さんより早いのですが、ストレートだと自分の方が遅いので、1.8クラスのスリッパを使いながらなんとか走り切りました。大変でした！」1.8 #18小林「#7茂木さんのタイムが速い！他のクラスなので競っても仕方ないと思い、前に出られた後は付いていこうと思いましたが離されてしまいました」1.5オープン#7 茂木「#18小林さんはヘアピンの進入で抜きました。クラスも違うしマシン特性も全然違うのでお互い無理はしませんでした。とても楽しく気持ちよく走れました」1.5チャレンジ#1 菊池「今回は後ろが競ってくれていたなのでその間に離せました。すべて順調に走れました」と語った。



RESULT リザルト 1.5 Open

Rank No.	Name
1	7 茂木 文明
2	14 小倉 徹
3	45 伊東 英彦



RESULT リザルト 1.5 Challenge

Rank No.	Name
1	1 菊地 峻斗
2	28 四條 健
3	38 中村 進
4	171 田中 悠太
5	0 北田 辰男
6	6 木村 安志



RESULT リザルト 1.6

Rank No.	Name
1	34 竹田 幸一郎
2	27 野木 強
3	73 高橋 功典
4	3 野田 宗男



RESULT リザルト 1.8

Rank No.	Name
1	18 小林 哲男
2	91 神谷 誠
3	12 石森 聖生
4	2 渡邊 達也
5	88 山田 健介
6	111 安田 博一